

9月13日(土)「第2回ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回は、ゲストに「光の岬福祉研究会」の太田真さんと「弘前ラーニングボックス研究会」の榎引幹子さんをお迎えして、お二方の活動について、お話ししていただきました。

前半は、太田さんに、自閉症スペクトラムの方のコミュニケーションPECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を紹介していただきました。カードを紹介する前に自閉症スペクトラム症について教えていただいて、それから、実際にカードを利用して、弘前中央市場で「大学いも」を買う様子をスクリーンに映し出し、取り方を紹介していただきました。

現在、6店舗のお店が協力してくださっているが、それ以外のお店に、飛び込みで実践してみたのが面白かった。お店の方からは、私たちは対応を知らないだけであって、教えてもらえたら、自分たちにとっても助かることだ。と理解を示してもらえたことが嬉しかった。

太田さんの「私たちに合わせてもらうのではなく、私たちが自閉症の方に合わせるんだ」という言葉が心に強く残りました。

※短い文でお伝えするのは難しいので、下記を参考にいただければ助かります。

PECS については～ <http://www.pecs-japan.com/WhatsPECS.htm>

太田さんの活動は、あおもり PECS 研究会 Facebook で、ご覧になることができます。

コミュニケーション支援ボードは、下記からダウンロードできます。

http://www.my-kokoro.jp/kokoro/communication_board/#comb_a

自閉スペクトラム症〈ASD〉とは・・・

- ・生まれつき脳機能のタイプが一般人と違う。
- ・脳の情報処理の仕方が一般人と違う。
- ・物事の感じ方や理解の仕方が一般人と違う。
- ・感覚の刺激の感じ方が一般人と違う。
- ・知的発達レベル様々。(知的障がい～天才?)
- ・発達に著しくメリハリがある。
- ・減りで勝負するよりも、張りを伸ばして生かした方が得策！(門真一郎先生より)

後半は、榎引さんに、知的障がい児のための学習法を紹介していただいてから、実際に教材を使って体験してもらいました。

ラーニングボックスは、ボックス（木の箱）とカードを使用し、図形を瞬時に記憶することで脳を活性化させる神経衰弱ゲームのような学習法です。※簡単に、説明するのは難しいので、HPを見ていただければ助かります。

<http://www.yjklb.jp/pg88.html>

現在、**横浜と弘前の二カ所**でしか実施されていないが、学習に参加したお子さんが「図形を記憶し、脳の中で情報処理をすることで**思考力がつき、自己肯定感や学習意欲が芽生え**、言葉が話せなかった子が話せるようになったり、多動が落ち着いたりした」などの成長を紹介していただきました。櫛引さんは「**ちょっと手を掛ければ普通学級で学べる子どもを見過ごさず、可能性を伸ばしたい**」と話している。

実践では、大人二人(ゲストの太田さん)と、子ども二人に体験していただきました。大人が苦戦している中で、楽々クリアした子どもさんもいて、みなさんに「スゴイね！」って褒められて、誇らしげな顔をしていました。

参加者からは～弘前で、このような活動が行われているのを知らなかった。学校では学ぶことができないことを知る機会になった。自分の子どものことを知ることができた。このような活動をしている(頑張っている)人がいる「**弘前っていいなあ**」って思った。弘前市が誰にとっても過ごしやすい町になることを願っています。などなど・・・

「**ほっと・ほらんていあ**」は皆さんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるようにこれからも2か月に1回開催予定です。

今回は、11月15日(土)図書館2階視聴覚室で開催いたします。**テーマ**は「**ペットビジネスと殺処分問題**」サブテーマは、私たちが研究する「**愛犬ツアー**」と「**命の花プロジェクト**」について、**黒石商業高校の生徒さん**をゲストにお招きして、お話ししていただきます。**ボランティアに興味のある方だけに限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。**